

女性会計士委員会設置30周年記念事業

原 繭 子

はじめに

女性会計士委員会は、男女雇用機会均等法施行の翌年に当たる1987年6月に設置されました。今から30年前のことです。

その前身は、米山正次先生の音頭で1987年1月に結成された、兵庫会、京滋会を含む三会の女性会員・準会員による「近畿婦人会計士の会」と称する任意団体でした。設置のきっかけは、1986年に男女雇用機会均等法が施行され、「これからは女性も働くことが当たり前前時代」と、女性会員はもちろん、男性役員の方々の賛同もあったことです。そして、約半年後の1987年6月の定時総会において、近畿会の常設委員会としての設置が承認され、その際に名称を現在の「女性会計士委員会」にしたという経緯を経ています。

そして、2017年6月に女性会計士委員会は設置30周年を迎えました。どのような組織でも存続し続けることは容易ではありません。女性活躍が当たり前とはまだ認識されていない時代に発足し、30年も継続できたこと自体が、近畿会及び日本公認会計士協会の財産と考え、30周年記念の事業を開催することにしました。

設置30周年記念事業について

女性会計士委員会発足当時は、女性の地位向上を目的に活動しておりましたが、時代背景が変化し、近年は日本の少子高齢化、労働人口減少から「女性活躍」が国家の重要な方針に掲げられるようになりました。そこで、女性会計士委員会ではこの時代背景を追い風と位置づけ、公認会計士ではない方々にも女性会計士委員会の活動と存在を改めて認識していただくことを目標に、積極的に新しい取組を数々実施し、特に設置30周年にあたる2017年度はビッグイベントを数々企画実施しました。

◆30周年記念事業 第1弾 一般公開講演会
タイトル：「100人100通りの個性を活かし、理想でつながる経営」
講師：サイボウズ株式会社 執行役員
事業支援本部長 中根弓佳氏
日時：2017年8月27日（日）14:00～15:30
場所：ホテルグランヴィア大阪
名庭の間

参加者：会員39名、一般67名、合計106名
ダイバーシティ、働き方改革、と言っても、具体的にどのような組織運営をすれば良いのか。それは多くのビジネスパーソンにとって共通の課題であり、当業界も例外ではあ



りません。そこで、毎年1回、先進的な取り組みの企業事例をご紹介いただく講演会を企画することになりました。今回は、青野慶久社長ご自身が育休や時短勤務を実践しているサイボウズ社から、女性の人事担当執行役員かつワーキングマザーである中根弓佳氏に、従業員一人ずつ個性を生かすための取り組みをお話いただきました。



◆30周年記念事業 第2弾 一般公開講演会
 タイトル：「女性活躍のエンジン～新しい
 パワーを生み出すには～」

基調講演1：経済同友会元副代表幹事、
 G&S Global Advisors Inc.
 代表取締役社長

橘・フクシマ・咲江氏

基調講演2：国際女性ビジネス会議実行委
 員会委員長、株式会社イー・
 ウーマン代表取締役社長

佐々木かをり氏

パネルディスカッション：

橘・フクシマ・咲江氏、佐々木かをり氏、
 関根愛子日本公認会計士協会会長、北
 山久恵近畿会副会長、原 繭子女性会
 計士委員会委員長（ファシリテーター）

日時：2017年11月25日（土）13:00～15:00

場所：ガーデンシティクラブ大阪

オリオンの間

参加者：会員36名、一般89名、合計125名



前半の基調講演では、女性が一生働き続けることがまだ珍しい時代から現在にわたりビジネス界の第一線で活躍の女性の方々に、ダイバーシティの必要性や、女性が上位のポストに就くために必要なことについて、ご自身の経験を元にご講演いただきました。また後半では、関根愛子会長、北山久恵近畿会副会長も参加し、パネルディスカッションを行いました。



◆30周年記念事業としての講演会告知活動

講演会は第1弾、第2弾とも、女性会計士委員会としては初めて大阪市経済戦略局の後援をいただき、区役所や図書館その他大阪市関連施設でのチラシ配架を行いました。特に第2弾では、大阪市営地下鉄（当時）の全121駅の構内にB0サイズのポスターを掲示することも行いました。地下鉄駅構内ポスター掲示は予想を超える反響で、女性会計士委員会をご存知ない方々からも「ポスター見ました。」というご連絡をいただき、女性会計士委員会の存在も外部にお知らせするとともに良い機会となりました。

そして、テーマや講師の魅力に加えこのような集客方法も相まって、参加者数はいずれも女性会計士委員会史上過去最高人数を達成できました。



（御堂筋線 梅田駅にて）

◆女性会計士委員会のサイト新設

30年も存続してきた女性会計士委員会の情報を一箇所に集約し、外部の方への情報案内をURL1つでできるように、専用サイトを新設し、外部とアクセスしやすい環境を整備しました。

◆アンケート調査実施と中日本五会研究大会での中間報告

過年度に実施していた女性会計士対象アンケートを時代の変化に合わせて一新し、当業界の現状を把握することを目的に、性別問わず中日本五会の全ての会員（約8000名）を対象にした「公認会計士のワークライフバランス&キャリアの実態調査分析」を実施しました。その際、内閣府男女共同参画局実施のアンケートを参考にし、当アンケート結果を全国結果と比較できるよう工夫しました。（平成30年度の中日本五会研究大会で完成した分析レポートに基づいて発表する予定です。）

女性会計士委員会初の取組み

これ以外にも、30周年を機に、女性活躍を後押しする「女性会計士委員会初の取組み」を企画実施いたしました。

◆子育て支援セミナー

女性会計士が働き続けるためのサポート企画として、まず子育て支援目的のセミナーを企画実施しました。テーマは子育て中の会員向けですが、セミナーの参加対象は全ての会員です。子育て中でなくても参加可能にしている理由は、参加することで参加者のダイバーシティ意識の向上に寄与す

ると考えるためです。会員同士の交流機会のためにも、3ヶ月に1回定期的に開催することとしました。

※実は、定期開催を決める前に、女性会計士委員会初の子育て支援セミナーとして、「男性の育休取得が皆無に等しい時代に育休取得した男性会計士による育児生活体験談」のセミナーを開催しました。その際、大阪府中央区役所のご協力を得て、妊婦ジャケットを着用して妊婦の身体の状態を疑似体験したり、新生児の人形を使って赤ちゃんをだっこしたり着替えさせる練習会もセットで行ったところ、参加者から自分の育児をどうしていくかを考えるきっかけになったという声をいただき、3ヶ月に1回の定期開催にチャレンジすることにしました。

◆介護支援セミナー

性別に関係なく会員が長く働き続けるためのサポート企画として、介護について準備をする目的のセミナーを企画実施しました。大阪府中央区社会福祉協議会のご協力を得て、高齢者の身体の状態をグッズで疑似体験したり、車椅子の使い方など介護のプチ体験会をセットにし、介護施設の選び方について介護施設勤務経験をお持ちの弁護士の方にお話しいただきました。この年度から社会福祉法人の監査が法定化されたこともあり、社会福祉法人の監査に役立つ情報も盛り込んだ内容にしました。

◆女性会計士とベンチャー企業が会うイベント：女性会計士@ベンチャー企業常勤監査役のトークセッション（大阪市と

のコラボ企画）

大阪市経済戦略局に後援名義をいただいたことを機に、女性会計士とベンチャービジネスの接点づくりをめざしたコラボ企画をすることになりました。そこで、東京会からベンチャー企業の常勤監査役に就任している女性会計士2名をお招きし、常勤監査役の立場で公認会計士がベンチャー企業に貢献できることについて、関西のベンチャー経営者に紹介するイベントを企画実施しました。



最後に

今でこそ、「女性活躍」が当たり前に取り上げられる時代になりましたが、山あり谷ありの30年間、決して楽な道のりではありませんでした。初代委員長の松浦圭子先生をはじめとし、発足時にご尽力いただきました女性会員はもちろん男性会員も含めた志高い先生方、この30年の道のりを絶やさず継承してくださった役員及び会員の方々、そして当委員会にご協力いただきましたすべての関係者各位にこの場をお借りして厚く感謝申し上げます。

女性活躍というのは女性だけの問題ではなく、全ての人々における社会問題です。日本のその取り組みはまだ道半ば。これからも女性会計士委員会にはやるべきことがまだまだあると思います。

最後になりましたが、今後とも女性会計士委員会をよろしくお願い申し上げます。